

報告月日 令和6年 8月 2日
報告者 兼子 美穂

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催月日	令和6年 8月 1日 (木) 18時30分～19時00分		
開催場所	JCHO 北海道病院 講堂		
委員長	寺本 信先生	事務局	総合支援センター：兼子
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 寺本 信 (札幌市医師会豊平支部 副支部長) 岡嶋 真紀 (豊平区役所保健センター 札幌市豊平区保健福祉部長) 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック 院長) 佐々木 泉顕 (弁護士法人 佐々木総合法律事務所) 中川 大輔 (札幌薬剤師会 豊平・清田支部長) 〔当病院職員〕 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院 副院長兼総合支援センター長) 長 和俊 (JCHO 北海道病院 副院長兼周産期医療センター長) 長井 桂 (JCHO 北海道病院 統括診療部長) 山我 健 (JCHO 北海道病院 事務部長) 鈴木 千春 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 向 俊孝 (札幌市民政委員児童委員協議会 理事)		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 1) 一日平均患者数の推移 4～6月の入院1日平均患者数、平均在院日数は平年並みの推移。外来1日平均患者数は615.1人。 2) 紹介患者数・紹介率、逆紹介患者数・逆紹介率の推移 今年度整形外科医師増員に伴い、かかりつけ患者の紹介数が増加した。7月に糖尿病・内分泌内科の医師が交代したこと、循環器内科は8月より新任医師が着任したこともあり、今後積極的に紹介対応する。地域別では例年豊平区からの紹介率が3～4割を占めるが、同区内からの整形外科医師の異動により4～6月は豊平区が5割となった。逆紹介は腎臓内科で維持透析目的の逆紹介が多く、逆紹介率は86.1%であった。 3) 月別手術・内視鏡・分娩件数 手術・内視鏡件数は昨年度の同時期と比較し増加。整形外科、泌尿器科の手術件数が増加した。循環器内科手術は8月新任医師の着任に伴い、地域へのアナウンスとPCI対象患者の受け入れも進める。分娩はコロナ前と同じペースで推移しており、4月から助産師外来の枠も増やして対応している。 4) 共同利用		

本年 4-6 月の利用は平年並みで経過している。

2. ダヴィンチ手術実績について

3 月より稼働し泌尿器科、外科手術で使用。外科は直腸がんから開始し、7 月から肺がん手術を開始。7 月末までで 34 例実績。症例を重ねることで手術時間も短縮されている。10 月からは結腸がん、年明けには肝切・膵尾部切除を実施する方向。施設認定維持には肝切手術を年間 20 症例実施する必要がある。

質問：ダヴィンチ導入で術後の経過には違いがあるでしょうか。

回答：今のところ明らかな差はないが、今後直腸など骨盤腔内での手術で差が出てくると期待している。

3. その他

1) 4 階改修について

全ての工事工程が終了。これまで手術室の一室を緊急帝王切開用に確保していたが、病棟内に手術室を新設したため、手術室の効果的運用を目指す。

NICU1 床増床。NICU 後方として GCU を新設した。

2) JCHO 北海道病院健康祭り 2024 の案内

9 月 14 日（土）開催。当院の理念に基づき地域住民に当院を知っていただく。豊平区役所や企業等へ協力を依頼し、子どもから大人まで楽しめるよう企画中。次年度以降も継続予定。今後は薬剤師会にも協力を依頼する可能性あり。

3) 電子処方箋の稼働について

準備を進めているが調剤薬局とのシステム連携が大きな課題。近隣薬局にも周知・協力依頼をしていく。

質問：まずは門前薬局から開始でしょうか。

回答：こちらから指定する訳ではないが、今後電子処方箋の運用開始時にはまず近隣から周知する。近隣とは 9 月頃、本稼働は 10 月頃を考えている。

質問：薬剤師会で講習会等あるので声を掛けてもらえれば協力可能です。

回答：お願いします。

質問：マイナ保険証の稼働はいかがでしょうか。

回答：患者の利便性につながるように運用を進めているところです。

次回開催 令和 6 年 11 月 7 日（木）18：30 予定